新たな昆布の魅力を発見

―「昆布料理発表会」大勢の市民でにぎわう4／3―

歯舞産昆布の消費拡大を目指し、市と歯舞漁協女性部が主催の「昆布料理発表会」が総合文化会館を会場に開催されました。

第9回目を迎える発表会には、歯舞漁協女性部から「とろろ昆布の冷奴サンド」や「昆布たっぷりヘルシーお好み焼き」など、10の各支部から創作料理が出品され、根室産業クラスター創造研究会、根室スイーツ研究グループ、根室旅館組合が昆布のスイーツなど6品を発表しました。

また、逆さ地名を縁に交流を重ねる室根・根室交流会が今年も参加し、「室根・根室の架け橋カレー」などを出品し、会場のテーブルを飾りました。

詰めかけた大勢の市民は、お目当ての料理一つ一つをじっくりと味わい、感想を伝えながら配られたレシピについても質問を投げかけ、熱心にメモを取る姿も見られました。

今後の昆布消費拡大に大きな期待ができそうです。

料理を味わいながらレシピについて話を聞く来場者

ユニークな昆布カットで発表会が開始される

積極的に防火活動に参加

―歯舞少年消防クラブ全国表彰4／12―

華岬小学校の児童で活動する歯舞少年消防クラブが、全国少年消防クラブ運営指導協議会の平成21年度少年少女消防クラブフレンドシップ2010で全国表彰を受け、12日に市消防本部消防長から表彰楯が伝達されました。

結成から12年を迎えた歯舞少年消防クラブには、1年生から6年生まで33人が加入し、防火チラシや防火映画会の開催などのほか、地域での防火活動に積極的に参加するなどの活動を続け、地域でも高い評価を受けています。

伝達式では緊張の子どもたちでしたが、記念撮影のときには受賞のうれしさを笑顔いっぱいに浮かべていました。

暴力団員の市営住宅使用制限

―警察署との協定書調印式4／12―

根室市と根室警察署による「暴力団員による根室市営住宅の使用の制限に関する協定書」の調印式が、根室警察署で行われました。

長谷川市長と横尾署長は協定書を交換し、「明るく安全なまちづくりの第一歩であり、安心して生活できる環境をつくるために、今後とも暴力団の追放に努力する。」と協定の意義を述べ、市と警察の連携を一層強化しました。

根室市は、今年3月に根室市営住宅条例の一部を改正し、暴力団員に対しての入居や同居を制限するほか、現在の入居者に暴力団員がいた場合の明け渡しなどを明確にしています。

第1号の消防団協力事業所認定

―市内5事業所へ表示証交付4／20―

消防団員が入団しやすい環境と入団後の消防団活動がしやすい環境づくり行っている事業所や、災害時に事業所の資機材を提供するなどの協力をしている事業所に対する「消防団協力事業所表示証」の交付が市長室で行われました。

第1号の認定となった根室水道㈱、㈱サイトー、テスコ㈱根室事業所、日沼建設㈱、明協運輸㈱の5社は、従業員が消防団員として2名以上入団していることでの認定となりました。

各事業所へ表示証を交付した石垣副市長は、「地域の防災体制の充実は心強く、社を挙げての協力に感謝します。」とたたえました。